

# はる たか 晴天ニュース

にしむら はるたか

大阪府議会議員 **西村晴天**

〒590-0114 堺市南区榎塚台4丁3番1号

TEL: 072-322-7810 FAX: 072-322-7910

E-mail [nisimura@komei-fu.com](mailto:nisimura@komei-fu.com)

URL <http://nisimura.fugi.jp/>

# No. 53

平成19年  
11月 発行

## 府議会公明党(西村晴天団長)が提案の施策が大きく前進 府民生活の向上をめざして！

### 出産育児応援事業を開始

第3子以降、国の出産育児一時金に5万円を上乗せ(11月1日より)

国において公明党の推進で、昨年10月より、出産育児一時金が30万円から35万円に増額されましたが、実際には分娩費が40万円、検診費が10万円もかかり、負担が大きいことから、府議会公明党は、第3子以降の出産に5万円を上乗せ給付する府独自制度の実施を提案してきました。

いよいよ11月1日より制度が実施されます。

### 『まいど子どもカード』事業を実施

「いろいろなお店が子育てを応援」キャンペーンを展開

大阪府の2005年「合計特殊出生率(女性一人が生む子どもの数)」が、全国で5番目に低いことから、府議会公明党は、子育て支援策の一つとして、本事業の実施を提案してきました。

この事業は、18歳未満の子どもを持つ世帯を対象として、インターネットでシンボルマークを取り込んだ携帯電話の画面や印刷したカードを、協賛店で見せると割引などのサービスを受けられる仕組みです。現在、協賛店を募集中ですが、このほど、「日本マクドナルド」も協賛店として登録され、ハッピーセット430円(チーズバーガー、ポテト、ドリンク、オモチャ付き)が80円安い、350円で購入できます。

子育て世帯への応援に参加をしていただく協賛店への登録や、サービスを利用するための、シンボルマ

クの取得など、詳細は、下記のURLのWeb画面へアクセスして下さい。

(<http://www.maidokodemo.jp/>)

\*協賛店には、左記のマークの認定証ステッカーが掲示されています。



シンボルマーク

### 元気なシニアを応援します

「アクティブシニアの日」を設定

少子高齢化の進展で、平成27年には、4人に一人が65歳以上になるといわれています。

活気溢れる大阪府を築くためには、170万人を超える高齢者の方々が持つ、豊富な経験や知識、活力を企業、地域社会で生かしていただくことが不可欠です。このような、シニア活躍の機運を盛り上げ、支援する府の姿勢をアピールする意味からも、月に一日、「アクティブシニアの日(仮称)」を設定し、施設の無料開放や割引などの実施で、高齢者の外出機会を増やすなどに努めるべきではないかと、代表質問で光澤政調会長が提案し、知事からは、その実現に向け、検討するとの答弁がありました。

### メセナ自動販売機・第一号を府庁に設置(売上の一部を文化振興基金に寄付)



協力を呼びかける太田知事

府議会公明党は、心豊で潤いのある生活、個性豊かで活力ある地域社会の発展のためには、文化振興が不可欠であり、どんな時代でも、そのための財源を確保する仕組みとして、「メセナ自動販売機」実現を訴えてきました。

この度、近畿コカ・コーラボトリングとジャパンビバレッジのご協力により、府庁に第一号機が設置されました。今後、府内一円に普及が図られます。

売上の一部は、伝統芸能の活性化や市町村が実施する芸術鑑賞、交響楽団の活動費などに活用されます。

## 仁徳陵、百舌鳥古墳群などを 世界遺産に登録を

世界遺産とは、遺跡や景観、自然など人類共通の宝物として保護し、未来に受け継いでいくために、世界遺産条約に基づく世界遺産一覧表に登録された自然文化遺産のことです。

現在、世界では851が登録されており、その内、日本には、14件の世界遺産があります。

近畿地方では、法隆寺、姫路城、古都京都および奈良の文化財、熊野古道などが登録されています。

登録までの手続き

文化庁への提案 世界遺産暫定一覧表に記載  
推進のための条件整備(保存計画の策定、すぐれた普遍的価値の証明) 国の推薦決定 ユネス  
コ世界遺産委員会で審査の結果、登録

大阪府と堺市は、羽曳野市、藤井寺市と共同で百舌鳥、古市古墳群を世界文化遺産候補として国(文化庁)へ提出しました。

百舌鳥、古市古墳群は、約16年の歳月をかけ、680万人の労力をようして建設されたといわれる、日本で最大級の古墳である仁徳陵(墳丘長486m)をはじめ、応神陵(墳丘長425m)、履中陵(墳丘長360m)のほか、大きさが200メートルを超える前方後円墳が10以上存在するなど、日本の国家の形成過程を示すモニュメントであるばかりでなく、墳墓の築造に膨大なエネルギーを集中した得意な文化が日本に存在したことを示す貴重な資産が集積しています。



前方後円墳

## 大切な何かを忘れていませんか？ 「こころの再生」府民運動を推進しています。

子どもを巡る痛ましい出来事が続いています。家庭内で、親が子どもを虐待し、子どもが親を傷つける。いじめや校内暴力、教師への殺傷事件など学校も深刻な事態に陥っています。また、幼い生命が突然奪われる事件や少年非行、犯罪も後を絶たない状況です。平気で行われる迷惑駐車やタバコのポイ捨て。公共の場でのマナーの欠如。目に余る行為も枚挙にいとまがありません。

めまぐるしい社会の進展の中で、効率性や画一性を重んじ、歩みを急ぐあまり、「こころ」の大切さをないがしろにしてしまっているのではないのでしょうか。今一度、私たちの「こころ」のありようを見つめ直し、拠るべき価値観や行動様式を明らかにしていく必要があります。

そこで、大人も子どもも今一度、「生命を大切にする」「たがいを思いやる」「感謝する」「努力する」「公共のルールを守る」など、大切なことを見つめ直し、一人ひとりの身近な取組み(7つのアクション)からはじめる運動です。

### 大阪「こころの再生」あい言葉

「こころの再生」。  
それは、よりよく生きようと努力する、大阪人の誇りと気概を取り戻すこと。  
生命は大切なもの。  
よりよく生きる基礎となるもの。  
今一度、皆で、そのことを確認しよう。  
今こそ、大人が子どもの育ちに向き合おう。  
子どもの話をじっくり聞こう。  
大人も子どもも、本音で語り、  
本気でぶつかっていこう。  
本気で、本物をめざそう。  
「ええもんはええ。」「あかんもんはあかん。」  
ユーモアを忘れずに。  
「ほめる、笑う、叱る」を愛言葉に。

平成18年 1月

「こころの再生」を考える有識者懇話

### 《7つのアクション》 一人ひとりのアクションから大阪のまちがかわります！

「あかんもんはあかん」と、はっきりしかりょう  
「ええもんはええ」と、はっきりほめよう  
「ユーモア」を大切にしよう  
子どもの話をじっくり聞こう

「あいさつ」をもっと大切にしよう  
「おかげさんで」を大切にしよう  
地域にどんどん出て行こう